



主屋平面图



交通のご案内



- ◆電 車／ＪＲ常磐線取手駅、またはつくばエクスプレス守谷駅より
(乗換え) 関東鉄道常総線水海道駅下車
- ◆高速バス／東京駅八重洲南口より高速バスにて水海道駅下車
- ◆水海道駅／三妻駅からはタクシーをご利用下さい。

■入館のご案内

開館時間／午前9時～午後6時（4月～10月）〈受付は午後5時まで〉

午前9時～午後5時（11月～3月）〈受付は午後4時まで〉

休館日／月曜日(祝祭日の時はその翌日)、年末年始(12月29日～1月3日)

入館料／一般 300円、児童・生徒 100円

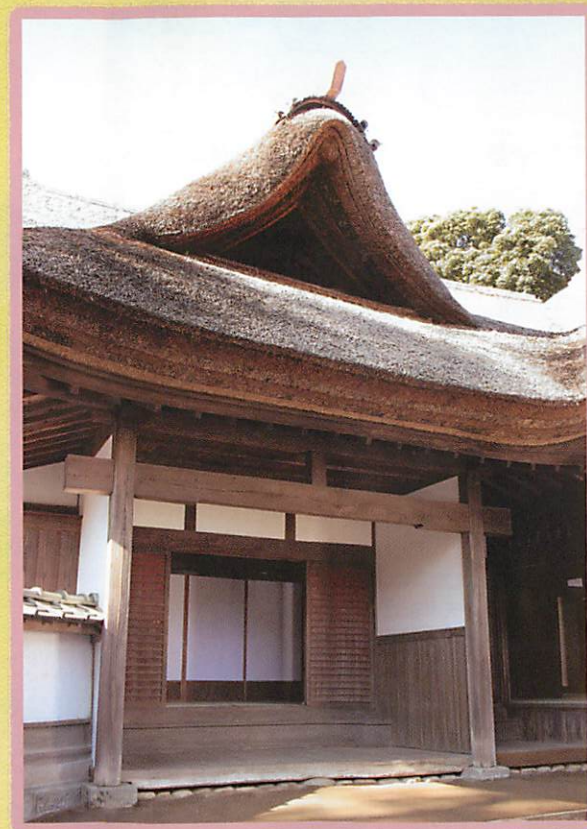
〔団体割引(15人以上)／一般 200円、児童・生徒 50円〕

水海道風土博物館

坂野家住宅

常総市大生郷町2037番地 電話&FAX (0297)24-2131
ホームページアドレス <http://www.city.joso.lg.jp>

水海道風土博物館
坂野家住宅
国指定重要文化財



おもや げんかん
主屋玄関



主屋全景 総茅葺き平屋建て、建坪面積は395.8m²(約120坪)。



小屋梁 土間の天井部は豪壮な梁の架構が見事である。



「広間」の南面にあり、四季折々の採光や通風に適した工夫が凝らされている。



薪や粗梁を燃やして煮炊きした場所。「へっつい」ともいう。



大正9年に建て替えられた木造瓦葺き2階建て、建坪面積は180.3m²(約55坪)。

「伊左衛門どん」、「だいじん屋敷」地元でこう呼ばれる坂野家は、当地に土着して500年ほどになるといわれる。近世期にはこの地方の惣名主的存在でもあり、多くの人に親しまれてきた。

坂野家が豪農としての基礎を固めたのは、江戸時代中期に行われた飯沼の新田開発のときといわれている。3,000町歩(30km²)におよぶこの大事業において、当主の伊左衛門は幕府から事業の責任者である「頭取」のひとりに任じられ、米の生産拡大に向け尽力した。天保年間(1830~1843)には、二宮金次郎(尊徳)が大生郷村の荒地再興の任を帯びて屋敷に逗留し、村人に農業の仕法を施した記録も残っている。また、昭和8年(1933)の記録によれば、農業規模は米が小作米ともで1,300俵、小麦600俵の収量があり、7人の使用人を抱えた大農であったと記されている。

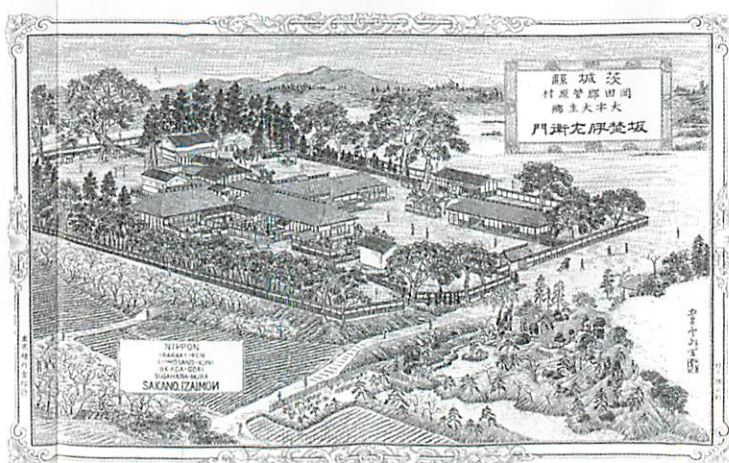
このように、坂野家は新田開発を契機に拡大し、現在残る屋敷構えの原形もこの頃造られたと考えられる。

昭和43年(1968)には、「主屋」と「表門」(薬医門)が国の重要文化財として指定された。重厚なたたずまいの主屋と本来武家屋敷に設けられる表門からは、当家の格式の高さが伺われる。

屋敷構えの中心となる主屋は、「土間部」、「座敷部」、「居室部」にわかれ、豪農の家にふさわしい構造が随所に見受けられる。土間部には、木割りの大きい柱や梁で構成された架構があり、豪壮で意匠も優れている。また、竈や内風呂、馬屋などからは当時の坂野家の生活の様子をかいま見る事ができる。座敷部は、南から「一の間」、「二の間」、「三の間」と呼ばれ、一の間には床・棚があり、二の間との境には透彫りの欄間を入れ、その他にも長押に釘隠を打つなど豪農住宅の客間としてよく整えられている。また、座敷部の式台を持った玄関は、幕府から派遣されてくる役人用に備えたもので、当主といえども普段の使用は控えていたという。居室部は、「広間」前面の柱間3間に「れんじ」と呼ばれる「蔀戸」が吊られ、その上を欄間としている。この蔀戸と欄間による立面意匠はこの地方ではあまり例を見ない。主屋の中心となる居室部は、18世紀初め頃に造られた大型住居としてそれ自体珍しいものであり、19世紀になって接客用に増設された座敷部と共に大型住居の発展過程を知ることができる数少ない遺例として貴重である。

主屋西側には「月波楼」と名付けられた「書院」もあり、幕末から明治期にかけて文人の当主のもと、多くの書家や画家たちが訪れ、優れた作品の創作活動の場となった。

市では、平成10年に建物と屋敷地を譲り受け、歴史的建造物とこれを取り巻く里山風景を保存する『水海道風土博物館』として屋敷構えや庭園などを銅版画に近い姿に整備・復元し、平成13年4月より一般開放をはじめた。その後、主屋の老朽化が著しいため、国と県の補助を受けて平成15年1月から17年12月までの期間で保存修理工事を実施した。工事はいったん全てを解体して補修しながら組み直す工法が取られ、調査によって主屋の変遷がほぼ明らかになったことから、主屋の形式が最も整った19世紀中頃の姿に復元した。



銅版画 明治25年に発刊された「大日本博覧図」に収められた坂野家。その他にも関東地方の旧家・名家・商家など200軒ほどが掲載されている。